

松山市のDX進捗状況と今後の取り組みについて

I 本市の令和4年度のDXの進捗状況

1. 行政手続きのオンライン化 (単位: 手続(累計))

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画	—	100	289
実績	65	129	466

※行政手続きのオンライン化で本人確認の際に利用するマイナンバーカードの交付率 **72.1%**で中核市で全国3位(令和5年3月末現在) (参考: 全国平均67.0%)

2. デジタルデバйд対策(スマホ教室) (単位: 人(累計))

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画	—	200	400
実績	0	200	609

3. 庁内DX(AI・RPA)推進 (単位: 導入件(累計))

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画	—	8	35
実績	7	29	46

4. 自治体クラウドの推進

せとうち3市(倉敷市・高松市・松山市)で、共同調達した住民記録・印鑑・選挙人名簿システムは令和5年2月からガバメントクラウドで運用開始。

※住民記録・印鑑システム(自治体システム標準仕様準拠)が、ガバメントクラウド上で稼働するのは全国初(倉敷市: 令和5年1月、松山市: 令和5年2月、高松市: 令和6年1月予定)

5. 市民向けアプリの導入

(1) 母子手帳アプリ(まつスク)

健診や予防接種情報などを記録したり、市からの子育て情報を受信できる
令和5年2月13日から運用開始

(2) マイ・タイムライン防災アプリ

紙で作成していたマイ・タイムラインをデジタルで簡単に作成できる
令和5年4月1日から運用開始

(3) 健康アプリ

「高齢者いきいきチャレンジ事業」で行っていたイベントなどに参加することでポイントが貯まる制度に加え、目標歩数の達成や、脳トレゲーム、健診の受診等でポイントが貯まり、そのポイントは飛鳥乃湯泉で利用できるほか、電子マネーと交換できる
令和5年7月 運用開始予定

II 今後の DX の推進

1. ドローンやウェアラブルカメラを活用した現場作業の効率化

令和5年度中に検証し、今後の利用拡大を検討

- ①ドローン:現在目視で行っている沖合の防波堤の確認など、施設の維持管理や現地確認
- ②ウェアラブルカメラ:体に取り付けて撮影するカメラなどを使って、遠隔で工事等の現場の状況を確認

2. 地域コミュニティの DX 推進

令和4年度に潮見地区で実施した縣市連携の事業を踏まえ、令和5年度は4つの団体でWEB会議を利用したコミュニケーションや情報発信のデジタル化など、計画から実行まで地域の団体と共に考え、支える、いわゆる伴走型で支援(団体調整中)

3. 縣市町共同利用のシステムに移行(令和5年10月運用開始予定)

※行政手続きのオンライン化で利用するシステム

新たに①PayPay が利用可能、②県内転居しても再登録が不要、③法人・個人事業者向け共通認証システム(デジタル庁)と連携した事業者向け手続きを拡大

4. 農業 DX の推進

農業の生産条件が不利な中山間地域などで、遠隔操作で作業ができる草刈り機の実証実験を行い、その性能や使用方法などを調査・研究

問い合わせ先

○DX 全般に関すること

デジタル戦略課 948-6976(御手洗、原、高市)

○母子手帳アプリに関すること

すくすく支援課 911-1821(山口、河野)

○マイ・タイムライン防災アプリに関すること

防災・危機管理課 948-6795(竹場)

○健康アプリに関すること

高齢福祉課 948-6408(宮内、田中)

○農業 DX に関すること

農水振興課 948-6192(大西、大野)